

This copy has been provided by the UBC Archives [or UBC Rare Books and Special Collections] and is to be used solely for research or private study.

II-3

PLEASE RETAIN
ORIGINAL ORDER

文化財について

一九五三、一〇、廿六

十月十七日の如紙フオーラムに載せられた
「文化財」に関する、エム・オー生の著意見
は、真に力ず大人に成った日系人の心の底か
ら湧き出る叫び声として、愉快に読み、賛意
と敬意を表する。

私の属して居た団体も、二、三年前に、不
動産を処分した金額から、謝礼や、見舞いや
その支出をしたといけで其後全体的整理は未だ

出来て居る。其整理の衝に當つて居る
 一方々の頭痛の程で御案し出来る、予故に今
 員の中には、自分勝手な提案をし整理委員と
 斯くも永々と燃やして居る事も相續出来る、
 古来の話に、金財使ひやうに依つて、死
 金の~~金~~金財~~金~~予分を場かけの用とかしあいの
 意か~~金~~生か~~金~~金財の使ひ途があると聞いた事
 があるが、謂所文化財を奨學資金に使ふ事は
 其金の効りきが、一時助の功のてなく、
 の効りきをし、それが力+ダの五、六家社会の御

景世の
 育英

来の文化に貢献する永久の力とすべきなのであるから生きて使方とある。

ボーハエラと謂ふ軽蔑語で呼ばれたりする

ユクレニヤ人は、彼等の団体で、種々不社会

主義をやつて居るやうであるが、自分達同胞

間其中でアルハタウエドモレト大学の子

クレニヤニ二世大学生のためには、学生寮を経

営し、二世大学生が、場面の要へる元氣な勉勵出来るやう

に何れとなく世話をしとあるやうであるが

、カナダの王家、社会へ、中賢人物を送り出

す^に使^ふ金^は

永^くは

其^の榮^え然^に

たる光^を

永^く失^はる^事

頤

州^の移^り民^がお

ハ

と

謂^はれ

下^る

此^の事^業

に

対^して

は

力^を

加^へて

有^識

者^達

が

絶^えず

も

故^{あり}

かな

と

ある

私^は

工^ム

、

オ

氏^の

提^案

が

実^現

さ

れ

る

祈^う

と

也^な

（

Y^生）